

水木しげる氏 表紙絵

＝わたしと友達になってくれる？＝

表紙絵：水木しげる

- ・ 特集：「図書館サービス係の仕事」 2～5
- ・ 令和2年度子どもの本に親しむ会 6
- ・ ブッククエスト オンライン 7
- ・ 郷土の歴史と伝承 8

図書館サービス係の仕事

図書館サービス係とは？

調布市立図書館は、7つの係で構成されています。その中の1つ「図書館サービス係」では、市民の生涯学習や文化活動、生活に役立つ図書館を目指して、図書館の利用者サービス全般に関する業務を行っています。今号では、数ある業務の中から6つの業務について紹介します。



①予約業務

利用者からリクエストを受けて購入が決まった資料の発注準備や、予約の提供が遅れている資料があれば、延滞している人に督促をしています。



調布市立図書館公式キャラクター じろ

次に待っている人のために
期限内に返却しようね。



【予約方法】

窓口・電話・ホームページから予約の申し込みができます。予約した資料は、市内全11館の中から希望の図書館で受け取ることができますので、都合に合わせて利用してください。

また、ポスターを作成して、予約の多い本に関する情報提供をしています。これは、予約の多い順にランキング形式で掲載しているもので、毎月月初めに各フロアに掲示及び図書館ホームページに掲載しています。予約の際はぜひ参考にしてください。

「今月の予約の多い本」ポスターで最新のトレンドがわかるね！



今月の予約の多い本
2021年1月

※の表は、お隣りになりたいたのが多く、予約待ちと待ちの多い本です。お隣りを行って頂くのがおすすめです。

順位	書名	著者	出版社	予約数	在庫数
1	1. ぼくはイモで動物のうで、ちゅーど！	ブレイズル	文芸春秋	100	10
2	2. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	80	10
3	3. フラッシュバックと名前の愛の物語	松本浩一	文芸春秋	70	10
4	4. クラウドの森	松本浩一	文芸春秋	60	10
5	5. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	50	10
6	6. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	40	10
7	7. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	30	10
8	8. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	20	10
9	9. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
10	10. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
11	11. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
12	12. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
13	13. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
14	14. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
15	15. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
16	16. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
17	17. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
18	18. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
19	19. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
20	20. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
21	21. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
22	22. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
23	23. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
24	24. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
25	25. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
26	26. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
27	27. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
28	28. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
29	29. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10
30	30. 少年と女	松本浩一	文芸春秋	10	10

▲「予約の多い本」ポスター

【予約件数】

人気のある本には100～500件位（稀に1000件を超えることも！）の予約が入ります。予約多数の本を予約する際は、お手元に届くまでかなりの時間を要しますので、予めご了承ください。

②協力業務（相互貸借業務）

利用者が探している資料を調布市立図書館が所蔵していない場合に、都立図書館や他自治体の図書館から取り寄せて、利用者に提供しています。

※市内在住・在勤・在学の方のみ利用できるサービスです。また、資料によっては、取り寄せできない場合もありますのでご了承ください。



調布市の図書館に本がなくてもあきらめないで！まずは図書館職員に相談してみよう♪



【都内図書館統合検索】

東京都立図書館のホームページ（<https://www.library.metro.tokyo.lg.jp>）の「都内図書館統合検索」では、東京都内の公立図書館等の蔵書や、論文・雑誌記事を一度に検索することができます。図書館職員もよく利用しています。

③雑誌管理業務

調布市立図書館が所蔵する521タイトルの雑誌の管理を行っています。また、新たに購入する雑誌について、利用者の希望や休刊・廃刊の情報を踏まえたうえで検討しています。



▲中央図書館4階雑誌架



【雑誌目録】

雑誌の発行情報や配架場所を掲載した「雑誌目録」を雑誌架に設置しています。お探しの雑誌が見つからないとき等に参考にしてください。

④展示業務

読書啓発や本との出会いの創出を目的として、時事や季節、市民の関心の高いテーマを取り上げた展示をしています。

展示場所は、中央図書館4・5階をはじめ、映画資料室、視聴覚資料室等です。また、図書館ホームページに展示の様子を掲載しているので、ぜひご覧ください。



▲中央図書館4階入口正面展示
「自然分野展示 いきものに会いたい!」



▲中央図書館4階小展示
「F C 東京応援展示 カップを奪い獲れ!」



【展示テーマ】

中央図書館4階入口正面展示は、2ヶ月に1度テーマを変えて本の展示をしています。本の分野ごとにいる担当がテーマを決め、本を選んで展示しています。

⑤視聴覚資料管理業務

視聴覚資料（CD・DVD・ビデオテープ・カセットテープ）の管理を行っています。また、映画資料室と連動し、「映画のまち調布」として特色ある資料収集を行っています。



▲視聴覚資料室（中央図書館6階）

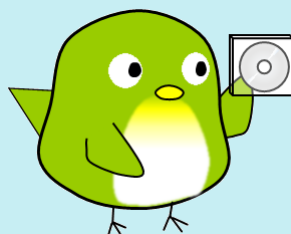


▲視聴覚資料室展示「映画のまち調布」



【ICタグ】

視聴覚資料室では、ICタグによる資料管理システムを導入しています。バーコードとは異なり、資料を1つ1つ読み込まなくても、複数の資料を一括して読み込むことができるため、自動貸出機を利用して、貸出し・返却の作業を迅速に行うことができます。



資料を自動貸出機の上に置き、
利用カードをかざしてボタンを
押すだけでOK！



▲自動貸出機

⑥読書推進業務

市民の読書・文化活動の推進を目的に生涯学習団体「アカデミー愛とぴあ」と協力し、講演会や読書会等を実施しています。毎年2月に開催している「調布樟（くすのき）まつり」は、昨年で48回目（今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）となり、文化・文芸講演会、短歌大会等の10の催しを開催し、毎年多くの方に来場いただいています。



【アカデミー愛とぴあ】

「アカデミー愛とぴあ」は、昭和48年に発足した「調布ブッククラブ」を母体とする生涯学習団体です。図書館開館の翌年（昭和42年）に、図書館の働きかけにより地域に誕生した読書会や、俳句・短歌・随筆・小説などの創作サークル、一つのテーマを深く学習する研究会など約28サークルから出発しました。令和元年度の登録サークルは17の読書会を含む40サークル、登録会員は410人となっています。

科学の本っておもしろい

子どもと楽しむ科学と科学の本

講師：坂口 美佳子氏



令和2年11月12日(木)に、科学読物研究会運営委員の坂口美佳子さんをお招きし、科学の本の面白さや楽しみ方について、科学あそびの実演も交えながらお話しいただきました。講演の内容を一部紹介します。

● 間口を広く、子どもたちの背中を押してあげる

子どもたちの持つ科学への興味関心を、大人は否定をせずに受け止めてあげることが大切。きちんと説明ができなくても、子どもたちが純粋に感じたことに対して、「なるほど」「面白いね」と受け止め、背中を押してあげる。大人から認めてもらえた経験は、子どもにとって励みになる。

レイチェル・カーソン著『センス・オブ・ワンダー』にもあるように、自分で感じる事が重要。体験が育ての親になる。その体験を子どもと大人が共有し、共感することも大切。

● 魅力的な科学の本の3つの特徴

1. 1つの真理をじっくりと説いた本：子どもが分かるペースで書かれている本をぜひ紹介してほしい。
2. やさしくて面白い本：大人でも発見があって楽しめる本は、子どもたちにも面白さが伝わる。
3. 体験とセットで楽しめる本：誰でも上手くできる科学あそびが載っているのが良い本。

“直接体験と間接体験を一緒に楽しめる”これが科学の本ならではの特徴。ぜひ本を活用してほしい。

魅力的な本もたくさんご紹介いただき、宇宙の大きさを改めて知ることができる実演や、科学を身近に感じられる簡単な工作など、科学・科学の本の面白さを実感できた講演会でした。

坂口 美佳子(さかぐち みかこ)氏



科学読物研究会運営委員。

主な著書に『科学のふしぎ』（フレーベル館、1998年6月）など。

科学あそび出前講座や本を通して、科学の面白さを伝えている。年に270回ほど様々な場所に出向き、その活動の場を広げている。



 まよいのもり	Q1 絵本「赤ずきん」より 赤ずきんをひとりのみにしてしまっておかみ。 何についてのみこんでしまうか? こたえ Q2 絵本「もりのなか」より ぼくがどうぶつたちとご一緒にした あそびはなんでしょうか? こたえ Q3 絵本「くんとちゃんのもりのキャンプ」より くんとちゃんといっしょにキャンプに行ったのは だれでした? こたえ
スペシャルもんだい hena魂 これはある森にいたへんなどうぶつがなえた。 さて、なんとかいであせましょう。 あるこうのヒント：漢字はなごにしていまよう こたえ	Q4 絵本「おぼけリンゴ」より おぼけリンゴがさいごにたおしたのほ なんでしょうか? こたえ



「ブッククエストオンライン」は図書館のホームページの「お知らせ」から印刷できます。問題のシート（通常版）はカラフルですが、白黒版も用意しています。

ヒントが欲しい方は、調布市立図書館が発行している児童書のリスト『このほんよんで！』が攻略の助けになります。調布に関する問題は各図書館で配布している「調布市観光マップ」でヒントが探せます。

問題が解けたら答えをチェック！当たっていたら(当たってなくても)おまけグッズを印刷してみてください。それぞれの問題シートの雰囲気合ったおまけグッズになっています。

工作も楽しめるので、ぜひ作ってみてください！

「ハレ」と「ケ」のある暮らし

関 口 宣 明のぶ あき

人々の暮らしが農業を中心に営まれていたころの調布では、晴着^{はれぎ}を着るような「ハレ（晴れ）」の機会と、それ以外の「ケ」とよばれるふだんの生活との間にははっきりとけじめがつけられていました。では特別な日である「ハレ」をどのように迎えていたのでしょうか。

1. 「ハレ」と冠婚葬祭^{かんこんそうさい}

「ハレ」といえば年間の農作業の折り目に行われる村祭りや年中行事などがあげられます。また村人の冠婚葬祭の場合も、当事者だけのことでなく、村全体の関心事だったので、その行事には村人が一丸^{いちがん}となって取り組みました。

ともに人の誕生を喜び、結婚という人の新しいつながりを祝い、人の死を悼む^{いた}行事は地域をあげて行ったのです。当時の人は、同じ火で煮炊^{にた}きした食物をともに食べることが、人同士のきずなを深めるのに欠かせないと考えていました。昭和30年ごろまでは、婚礼や葬式などはおもに自宅を式場にしていたので、大勢の人を招いて飲食をするために、何十組ものお膳^{ぜん}やお椀^{わん}などが必要でした。これらの調度品^{ちやうどひん}は高価なものでしたので、資金を共同で出し合って購入し、必要な人が借りて使っていました。市内には、幕末から代々使われてきた道具が残されています。

2. 地域で祝った子供の成長

人が一生の節目^{ふしめ}を迎えるにあたっては、心身を慎^{つつし}んで、気持ちを新たにすることが大切でした。旧下仙川村の旧家の記録によると、明治25（1892）年の長女誕生のときには、半紙に包んだ白い麻^{あさ}が親戚や地域に住む大勢の女性から贈られています。麻は丈夫でまっすぐ育つところから、新生児の長寿を願ったものといわれます。

また、子供が世に出るには、いくつかの段階がありました。「七つ前は神の子」といわれ、数え年七才になるまでは幼児としてあつかわれましたが、その年令にたつると「お宮参り^{みやまい}」をしてようやく村人の一員として認められるよう

になりました。これを祝った「オビトキ（帯解き）」の行事では、

着飾った子供と、
紅白の丸餅^{まるもち}を900
個ほどもつめた半
台^{はんたい}をリヤカーに乗
せて、親元、仲人^{なこうど}、



半 台

近所などをまわり、「幸せ^{しあわせ}」のおすそわけをしました。

3. 着物や食べ物に表れた「ハレ」

むかしの人の感覚では、吉凶^{きつぎょう}ともに「ハレ」の機会でした。明治時代には東京市域でも、葬式に白の着物を着ることがありましたが、開国の影響により、大正時代には、黒の喪服^{もふく}に変わっていました。一方、調布では、昭和19（1944）年に深大寺地区の葬式で、近親の女性に白の着物を着たといわれ、都会とくらべて「ハレ」の感覚が残っていたことがうかがえます。また物のない時代には、日ごろから麦^{あわ}、粟、サツマイモなどを食べるつつましい暮らしをしていても、「ハレ」の日だけは仕事を休み、「かわり物」とよばれる赤飯、米の飯、ぼた餅^{ごもくめし}、五目飯、うどんなどのごちそうを作って食べました。「待つが祭り」というように、神や物事の来るのを心して迎える「ハレ」と「ケ」のある暮らしは、人々を心豊かにしていたのかもしれません。

※参考文献：『調布市史民俗編』『多摩民具事典』

刊 行 物 番 号

2020-191

図書館だより 第258号

令和3年3月25日発行 [市内印刷]

発行 調布市立図書館

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1

TEL 042-441-6181

<http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/>